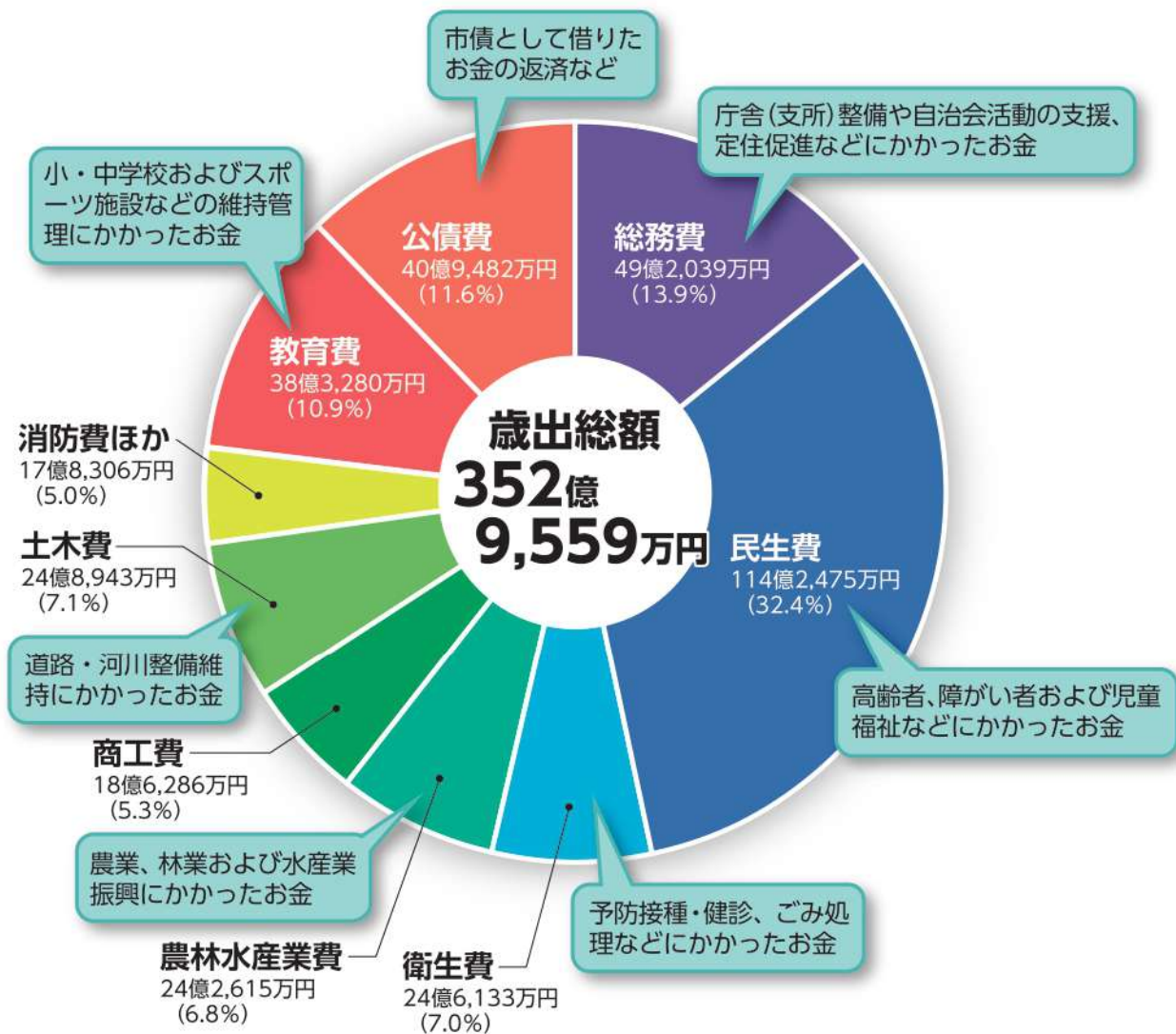


主な内容

- P4 令和3年度決算 注目事業
- P9 常任委員会報告
- P14 市政を問う「一般質問」
- P19 議会のうごき

352億9,559万円

[前年度との比較 1,208万円の増]



市民1人当たりの借金 56万4,684円



市債（地方債）と言われるものですが、自治体が学校・道路・橋などを整備する資金を調達するために、国や銀行から借り入れるお金です。多額の出費がある場合や、将来の世代にも経費を負担させることが公平な場合などに借り入れることができます。

市民1人当たりの貯金 53万3,286円

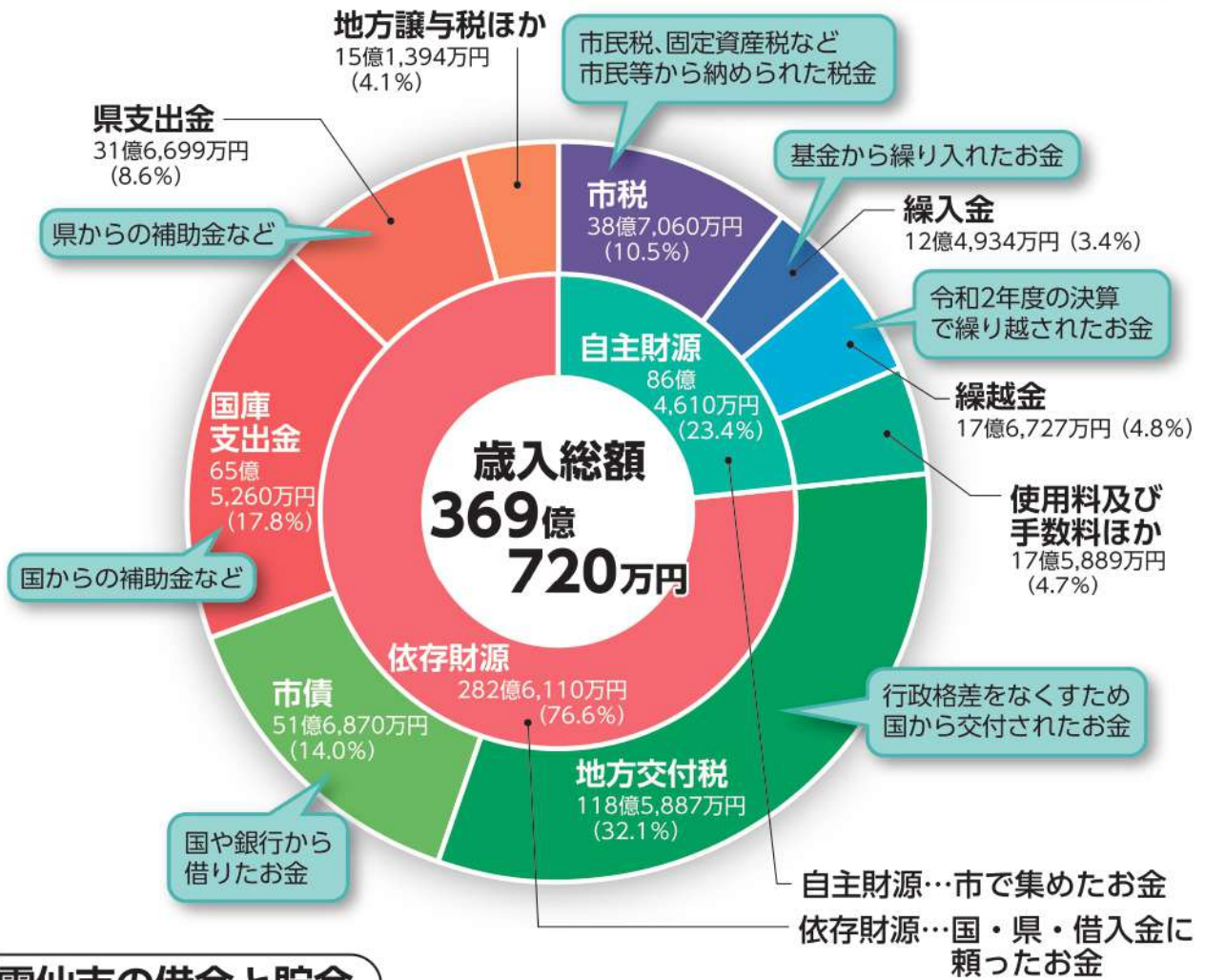


積立金（基金）と言われるものですが、一般の家庭において、出産や進学などに備えて積み立てておく貯金と基本的には同じもので、特定の目的や将来の出費などに備えて蓄えています。

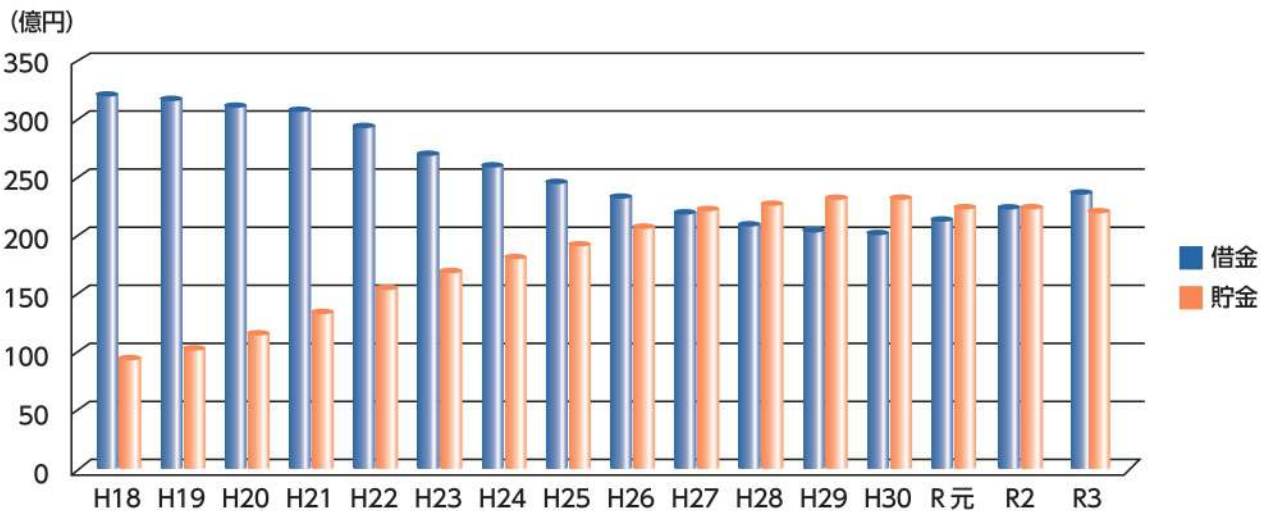
決算

一般会計歳出

決算の内訳



雲仙市の借金と貯金



ごみ収集・組合負担金事業

7億6,570万円



市内の環境美化を図るため、ごみステーションに排出されるごみの収集運搬業務の実施や可燃ごみ、不燃物処理のための負担金を支払いました。

浄化槽設置整備事業

1億3,559万円



(設置基数)

5人槽	46基
6~7人槽	68基
8人槽以上	12基
合計	126基

生活雑排水による公共水域の水質汚濁を防止するため、下水道等施設の整備が予定されていない区域や接続が不可能な住宅・建物における浄化槽の設置や維持管理費に対する助成を行いました。

産地生産基盤 パワーアップ事業

2億8,036万円



競争力に強い産地づくりを図るために、育苗施設などの施設整備と併せて、収益性を高める生産資材や高性能機械の導入に対して助成を行いました。

令和3年度 決算 注目事業

市の予算がきちんと執行されたか、各常任委員会で慎重審査し、すべての会計決算を認定しました。

その中で、議会が注目した目玉事業を紹介します。

決算額は、令和3年度のみのものであり、全体事業費ではありません。

超高速ブロードバンド 基盤整備事業

3億4,528万円



光回線整備事業者に対し、整備に係る基盤整備補助金を交付しました。市内全域の超高速ブロードバンド環境整備が完了しました。

子育て世帯への臨時特別 給付金支給事業

6億2,509万円



新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援する観点から、高校生までの子どもがいる世帯に対し、1人当たり10万円の給付金を支給しました。

老朽危険空家除却 支援事業

922万円



老朽化等による危険な空家住宅の除却工事を行う住宅所有者等に対して、対象工事費の一部を助成し、安全・安心な住環境づくりの促進を図りました。

南串山 漁港施設整備事業

1億881万円



就業環境の改善および地域住民の車両通行の安全性の向上を図るための臨港道路整備等を実施しました。

防災対策システム整備事業

9,570万円



災害警戒（対策）本部を設置する際、各種情報の収集および災害警戒（対策）本部の意思決定を迅速かつ円滑に行うことができるよう防災対策システムの整備を行いました。

感染拡大防止営業時間 短縮協力金支給事業

3億8,852万円



午後8時までの
営業時間短縮

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、県が要請した営業時間短縮要請に応じた市内の飲食店または遊興施設に対して協力金を支給しました。

小浜体育館整備事業

18億8,593万円



さまざまなスポーツやレクリエーションの拠点施設として、小浜体育館新築工事が完了しました。

【今後の主なイベント】

- ・令和4年11月13日 県民体育大会（空手道）
- ・令和5年2月11・12日 県スポーツ推進委員研究大会
- ・令和5年3月4日 Wリーグ（バスケットボール女子日本リーグ）

国見地区まちなか 再生支援事業

2,041万円



茅葺の永松邸

永松邸の公開および活用に向けた改修工事の実施や、神代・多比良商店街における人口減少や後継者不足に悩む状況を打破するために外部専門家を置き、商店通りにおける地域づくりに取り組みました。

令和4年 第3回定例会の概要

2億2,481万円の増額補正(第3～4号)で、
補正後予算額は**312億6,667万円**

令和4年度 一般会計補正予算(第3～4号)の主な事業

会計管理事務費

1,292万円

(事業目的) 本庁および各総合支所の会計窓口「非接触型のセミセルフレジ」を設置することにより、市民と職員の現金受け渡し等の接触を軽減し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図る。

(事業内容) 購入台数 7台(本庁および各総合支所)



マイナンバーカード交付推進事業

1,583万円

(事業目的) 国が進めるマイナンバー制度の普及を図る。

(事業内容) ①本庁、各総合支所の窓口体制の強化
②マイナンバーカード出張申請業務委託
実施場所：市内自治会公民館、
市内スーパー等の店頭



経営発展支援事業【新規】

1,112万円

(事業目的) 就農後の経営発展のために、認定新規就農者による機械・施設等の導入を支援する。

(事業内容) ①補助率：県支援分の2倍を国が支援
補助対象事業費上限 1,000万円
※経営開始資金対象者は上限500万円
(国 1/2、県 1/4、本人 1/4)



新型コロナウイルスワクチン接種事業【新規】1億6,641万円

（事業目的） 国の方針に基づき、オミクロン株対応の新型コロナウイルスワクチン接種を実施することにより、感染症のまん延防止を図る。

- （事業内容） ①接種方法：個別接種（医療機関等）、集団接種（接種会場）
 ②接種対象者：初回接種（1・2回目）を完了した12歳以上の市民
 ③接種費用：無料



議案 第43号 負担付き贈与の受入れについて

小浜マリンパークの県有地等の取得に伴い、負担付き贈与を受け入れることを決定しました。

【贈与目的】

小浜マリンパーク施設の有効活用、駐車場利用の公平性の確保および収益増加のため

【贈与を受ける物件】

① 土地

所在地	種目	数量
雲仙市小浜町北本町905番53	雑種地	2,345.06㎡
雲仙市小浜町北本町905番68	公園	3,042.02㎡
合計		5,387.08㎡

② 建物等

トイレ等施設、緑地等一式、足湯施設、植栽

【贈与者】

長崎市尾上町3番1号 長崎県知事 大石 賢吾

【贈与の条件】

「譲与契約締結の日から5年間、長崎県の承認を得ないで、譲与物件について売買、贈与、交換、出資等による所有権の移転をし、または所有権の移転を主たる目的とする合併をしてはならない」など。



人事案件

人権擁護委員

任期 令和5年1月1日～
令和7年12月31日（3年間）



寺尾 やす子 氏
(再任)



駒田 けいこ 氏
(新任)



林田 けんいちろう 氏
(新任)

令和4年第3回雲仙市議会定例会 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
諮問 第1～3号	人権擁護委員候補者の推薦について	同 意
議案 第39～43号	負担付き贈与の受入れについて	原案可決
議案 第 44 号	雲仙市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について	原案可決
議案 第 45 号	雲仙市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 46 号	雲仙市議会議員及び雲仙市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 47 号	雲仙市小浜マリパークの設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 48 号	雲仙市駐車場条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 49 号	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決
議案 第 50 号	令和4年度雲仙市一般会計補正予算（第3号）案について	原案可決
議案 第 51 号	令和4年度雲仙市企業誘致用地整備事業特別会計補正予算（第2号）案について	原案可決
議案 第 52 号	市道路線の変更について	原案可決
議案 第 53 号	令和4年度雲仙市一般会計補正予算（第4号）案について	原案可決
認定 第 1 号	令和3年度雲仙市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 2 号	令和3年度雲仙市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 3 号	令和3年度雲仙市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 4 号	令和3年度雲仙市国民宿舎事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 5 号	令和3年度雲仙市温泉浴場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 6 号	令和3年度雲仙市企業誘致用地整備事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 7 号	令和3年度雲仙市水道事業会計決算認定について	認 定
認定 第 8 号	令和3年度雲仙市下水道事業会計決算認定について	認 定

賛 否 表

議案番号	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
																				結 果
令和3年度雲仙市一般会計歳入歳出決算認定	可決	14:2	○	○	○	●	▲	○	○	○	○	○	○	●	○	○	▲	○	○	○
令和3年度雲仙市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	可決	14:2	○	○	○	●	▲	○	○	○	○	○	○	●	○	○	▲	○	○	○
令和3年度雲仙市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	可決	14:2	○	○	○	●	▲	○	○	○	○	○	○	●	○	○	▲	○	○	○

○賛成 ●反対 ▲欠席 ※議長（松尾文昭）は、採決に加わらない。

安全・安心ステーション
の利活用

決算
女性消防団員

問 瑞穂町と小浜町にある安全・安心ステーションが

活用されていないが、今後の利活用についての考えはあるのか。

答 瑞穂安全・安心ステーションについては、警察官の立ち寄り所等として、関係機関と協議を進めたい。北野安全・安心ステーションについては、雲仙市公共施設等総合管理計画の中で、解体あるいは譲渡等という方向で位置付けている。

問 女性消防団員の活動内容は。

答 4月1日現在で16人在籍しており、火災予防運動期間中の啓発活動、幼年消防クラブちびっこ防火大会の防火教育、雲仙市防災訓練、全国女性消防団員活性化大会、出初式などに参加し活動している。

問 今後、防災関係で女性の視点が大切になると考えるが、女性消防団員数を増やす考えはあるのか。

答 消防団本部の女性消防団員の定数が23人であり、定数に向け団員を増やしていく取り組みを行っている。

市民安全課

結婚応援事業

問 結婚応援事業は、今後も継続していく予定なのか。

答 今年度から結婚奨励金を見直して、結婚支援金を開始している。結婚支援金は、市内市外在住者を問わず令和4年4月1日以降に婚姻して、市内に在住する夫婦を対象としており、2年間で合計40万円

の支給額に変更している。また、加えて赤ちゃん支援金として、出生があった保護者に対し子ども1人当たり20万円を交付する制度を新設している。

地域づくり推進課

会計窓口セミセルフ
レジ導入

問 会計窓口セミセルフレジ（半分を自分で操作するレジスター）を導入するということがあるが、今後、電子マネー等が使用できる

キャッシュレスにも対応した機器となっていくのか。
答 キャッシュレスにも対応した機器を導入予定である。

会計課

総務

委員会

委員長 渡辺 勝美
副委員長 上田 篤

松尾 文昭
平野 利和
元村 康一
深堀 善彰
佐藤 義隆



文教厚生

委員会

委員長 大久保正美
 副委員長 大山 真一
 前田 哲
 委員 酒井 恭二
 矢崎 勝己
 藤本淳次郎

市内小中学校給水管改修

問

今回、八斗木小学校給水管改修工事をするが、給水管の設置から50年経過している学校の数と、それらの学校の給水管改修工事についてどのように考えているのか。

答

市内小中学校の8校が、設置から50年経過している。給水管の異常は見られないが、今後、調査を実施し対応していく。

決算 遠距離通学費補助金

問

統廃合した学校の運営経費と遠距離通学の補助を比較した場合、学校の統廃合でどれだけの経費が削減されたのか。統廃合した年度における

答

統廃合した年度における



現地視察（八斗木小学校）

教育委員会総務課

木指小学校、富津小学校、雲仙小学校の3校の学校運営経費の平均は622万8508円、統廃合翌年度の遠距離通学費については、3校平均で70万4085円であり、平均で1校あたり552万4423円の経費削減となっている。

じんかい 塵芥車購入事業

問

塵芥車納入までに時間がかかるようだが、業務への支障はないのか。

答

市では塵芥車を13台所有しており、そのうち3台を予備車とし、残りの10台で収集運搬業務を行なっている。また、更新については、車両の経過年数、走行距離、故障の頻度などを総合的に勘案し、業務に支障がないよう計画的に更新していく。



環境政策課

決算 国民健康保険税の収納率

問

令和3年度の収納率は令和2年度と比較して、29%増加しているが、その主な要因は何か。

答

現年度分の収納率が98%を超えている状況であるが、5、6年前から現年度分を中心に確実に徴収し、翌年度に繰り越さないという収納を的確に行なってきたことが収納率向上の最大の要因である。

収納推進課





委員会行政調査報告

文教厚生常任委員会

令和4年7月21日～23日

・データヘルスによる健康寿命の延伸について

広島県呉市

呉市は高齢化率が36%であり、1人当たりの医療費は年間46万4千円となっており、県や国の平均額を上回っている。

平成20年度よりレセプトのデータベース化を導入し、ジェネリック医薬品促進通知の実施により年間約2億8千万円の医療費削減の効果が上がっており、健康増進と医療費適正化が図られていると感じました。



・教育支援アドバイザー配置事業について

岡山県岡山市



事業概要は、警察OBや教員OBなどの指導経験者を「教育支援アドバイザー」として小学校に配置し、アドバイザーが実際に各学級の実態や学校の様子を見て客観的な視点から助言することで、問題行動未然防止のための体制づくりの推進に繋がっている。

また学校でのいじめ問題を担当教師が1人で抱え込むのではなく、アドバイザーの助言により、問題解決に向けた早期の取り組み効果があると感じました。

・倉敷市倉敷川畔伝統的建造物群保存地区について

岡山県倉敷市

当地区は昭和43年より倉敷市の保存条例や景観条例などが制定され、行政による保存整備活用とまちづくりが進められており、平成18年に「倉敷市伝達地区をまもり育てる会」が発足、民間団体・組織との協働による取り組みが展開されている。

雲仙市国見地区、神代小路の伝統的建造物群保存地区を生かしたまちづくりの取り組みの参考になると感じました。



産業建設

委員会

委員長	坂本 弘樹	小田 孝明
副委員長	町田 康則	小畑 吉時
	林田 哲幸	山本 松一

雲仙市駐車場条例 一部改正

問 条例案に経過措置として「令和4年12月30日までの使用料は徴収しない」とあるが、小浜マリナーパークの駐車場使用料はいつから徴収するのか。

答 議決後に本契約を行い、県との手続きを進め、周知期間等も踏まえて令和5年1月からの徴収を予定している。

来上がる予定であり、入札を12月頃に予定している。その後、契約を行い、令和5年1月頃から工事に着手する予定である。観光客を運ぶ船の運行体制については、今年度中に関係者と協議を進めていきたい。

観光物産課

国崎半島の棧橋整備

問 繰越明許費で観光資源整備・活用事業が繰り越しになっているが、国崎半島の棧橋整備の現状は。

答 令和4年9月に設計が出



現地視察（京泊漁港）

決算 アライグマ等の被害



アライグマ



アナグマ

問 農家からアライグマ等の被害が増えてきていると聞くが捕獲状況や捕獲に対する報奨金はどのようになっているのか。

答 アライグマは、令和3年度が2匹、令和4年度は現時点でゼロ匹となっており、アナグマは、令和3年度が66匹、令和4年度が52匹捕獲されている。また、捕獲した場合の報奨金として、アライグマ、アナグマについては、国が千円、市が2千円で合計3千円となっている。

農林課

決算 下水道事業会計

問 令和3年度の各施設の経費について、雲仙地区の処理費用が多い原因は何か。

答 温泉排水を処理する必要があるため、施設の規模が大きくなっている。また、かなり老朽化が進んでいるため、処理費用が増えている。

下水道課





委員会行政調査報告

産業建設常任委員会

令和4年7月6日～8日

・城崎温泉の取り組みについて

兵庫県豊岡市

城崎温泉の観光センターはJRの駅前にあり、観光協会・温泉旅館組合・街づくり会社の3つの組織が同じ部屋に入っている。観光センター前には電動の小さなバイクと電動のトゥクトゥクが並べられ、観光コースが設定してあり散策できる。また、傘を多く作って無料で貸し出し、どこでも返却できるようにしている。城崎温泉は旅館の外



に出てもらって楽しんでいただくのが原則であり、城崎地区3200人の人口全体で、76軒ある宿泊施設を運営しているようなもので、街を挙げて頑張っていると感じました。

・耕作放棄地及び遊休農地を活用した6次産業化について

兵庫県多可町



兵庫県多可町にある「ラベンダーパーク多可」では観光としてラベンダーを観賞してもらい、摘んで持って帰ってもらうラベンダー園、食事・ショッピングができる施設、ラベンダーの精油を抽出する加工施設があり、ラベンダーパークで2次・3次産業を担当している。加工するための原料となるラベンダーを町内の耕作放棄地および遊休農

地3.5ヘクタールで栽培し1次産業を請け負い、6次産業に取り組まれていた。本市の現在の営農スタイルでは考えつかないような耕作放棄地および遊休農地の解消方法であるが、町として成し遂げなければならない案件に取り組んだ力と努力の結晶であると感じました。

・地元農産物の販売状況について

兵庫県稲美町

JA兵庫南直売所「にじいろふぁーみん」には午前9時過ぎに到着したが、既に駐車場は満車に近く、スイートコーンの出荷待ちの行列ができていた。店内も客が多く大盛況であった。

野菜はもちろん、スーパーマーケット並みに品物は揃っていた。特に精肉は対面販売、豆腐工房では毎朝豆腐を手作りし、米工房では注文を受けてから



の精米に取り組まれており新鮮さを感じた。周辺に消費者が多く、食に対するJAの強みが前面に出ており、地理的な好条件を十二分に生かした直売所であると感じました。

市政を問う 9名の議員が一般質問

0:04



まち だ やすのり
町田 康則…… P 14
やまもと まついち
山本 松一…… P 16
お だ こうめい
小田 孝明…… P 17

おおく ぼまさみ
大久保正美…… P 15
さとう よしたか
佐藤 義隆…… P 16
ひらの としかず
平野 利和…… P 18

ふじもとじゅんじろう
藤本淳次郎…… P 15
おおやま しんいち
大山 真一…… P 17
やざき かつみ
矢崎 勝己…… P 18

一般質問は、質問者自身が会議録をもとに原稿を作成しています。

市の防災対策を問う!!



町田 康則 議員

近隣の過去の自然災害発生状況

議員 昭和32年諫早大水害

昭和34年小浜温泉街の台風高潮大災害、昭和57年長崎大水害、平成3年雲仙普賢岳噴火大火山砕流災害、令和3年雲仙土砂災害など、ここ70年の間に多くの災害が発生している。自主防災組織の強化と避難訓練の実施が重要だと思いが具体的な取り組みは。

総務部長 居住地域にどんな災害リスクがあるのかを知るため、防災マップを全戸配布した。また、自主防災組織機能強化補助金を創設した。

夜間での防災訓練

議員 熊本地震以降、夜の

災害発生を想定した防災訓練を一度でも行った自治体は全国の主要自治体の3割にとどまる。市の夜間訓練は実施されていないが、今後の実施予定はあるのか。

総務部長 夜間訓練の実施に向け取り組んでいきたい。

防災部署への女性職員の配置

議員 女性の視点が避難所を変わると言われているが、防災部署へ女性職員が配置されておらず、配置が必要では。

総務部長 防災部署は全て男性職員である。避難所では授乳や更衣空間の確保、生理用品の備蓄などを行なっている。

アレルギー対応食の備蓄

議員 アレルギー対応食の備蓄状況は。

総務部長 市が備蓄している食料はアレルギー表示28品目をクリアした対応食である。

日本一きれいなトイレ



大久保正美 議員

議員 市管理の屋外トイレ

58カ所は、9つの部署で管理しており、故障の問い合わせや清掃を考えた場合、一括管理が効率的と考えるが。

総務部長 まずは関係部署を寄せて協議をすぐ始めた

議員 屋外トイレは、和式が多い。洋式の考えは、

財務部長 屋外トイレの洋式化率は約42%であり、観光地としての魅力向上、財政負担の平準化など、計画的な洋式化が必要であると考える。

議員 まずは、小浜マリンパーク足湯のトイレなど観光に直結するトイレから整備してもらいたいと考えるが。

観光商工部長 観光客の利



小浜マリンパークのトイレ

用が見込まれるトイレ整備を優先的に行い、計画的な整備に努めたい。

議員 温水洗浄便座や便座消毒液の設置、観光地として特徴ある目立つトイレを整備し、評判となるようにしてもらいたい。どこに行ってもトイレがきれいと言われる「日本一きれいなトイレがあるまち」を目指す考えは。

市長 観光客にまた来たいと思っただけのためにも、トイレによるおもてなしという視点を持ち、年次計画での環境整備について、関係部局が連携し取り組んでいきたい。

経済対策と高校支援を



藤本淳次郎 議員
(会派：創新・公明)

議員 新聞に「宿泊盛況

客足鈍い飲食店」の記事、今年になり物価高騰が重なり、市として現在のコロナ禍の経済状況をどのように捉えているのか。今後の経済対策は。

市長 幾つかの事業者に聞き取りを行った。飲食店においては家族連れや少人数での来客は、持ち直しているが、大人数での宴会の減少があり、第7波の感染拡大の影響により厳しい状況が続いていると考える。

観光商工部長 市民1人当たり4千円の商品券を配布。国は地方創生臨時交付金をさらに一兆円増額を指示している。

議員 諫早市のプレミアム商品券の取り組みを市も検討

してほしい。

部長 交付金の対象であれば経済対策として研究する。

小浜・国見高校生への支援

議員 国見高校において、全校生徒188名の内124名がサッカー部員、その中に寮生等が107名いる。県から50名に対し助成金が支給されているが、対象外の生徒に県と同様の助成金を市から支給できないのか。小浜高校野球部にも1名の下宿生がいる。

また、市において高校支援事業の財源として、ふるさと納税の活用はできないのか。

地域振興部長 移住定住の観点からも、小浜・国見高校は市にとってなくてはならない存在である。関係者の意見を伺いながら前向きに検討していく。

観光商工部長 支援事業が市の事業として予算化されればふるさと納税の活用は可能である。

千々石海岸の離岸堤は



山本 松一 議員
(会派：新たな風)

議員 当初予算の説明では、工事延長は、5カ所で1.2km、工期は、令和4年から10年間、概算総工費は、61億円だったが変更はないのか。

農林水産部長 変更はない。

議員 離岸堤の構造は。

部長 20tの消波ブロックを台形に設置する構造となる。

議員 設置場所の順番は。

部長 地元と協議して、設置箇所の順番は決定したい。

議員 完成までの10年間は、多くの台風が予想されるので、1年でも早く完成できるように予算等、県との協議をお願いする。

人口減少対策

議員 市内の空き家を所有者に代わり移住者に管理してもらい、ゼロ円で空き家に住

んでもらう「ゼロ円空き家」の推奨で、移住者が興味を持つ思い切った対策は検討できないのか。

地域振興部長 住まいに関する支援の調査研究を行う。

市民視点の行政は

議員 農地を維持する上で本当に困っている人が要望している農地保全事業の予算配分の耕地面積割50%に、利便性が向上する市内4カ町が実施の基盤整備地区面積359haまで入れるのはおかしいのではないのか。

副市長 市の農業振興に必要不可欠な事業であるので、予算配分の基になる均等割、耕地面積割、事業費割の割合見直しを含め研究する必要があると考えている。

議員 市水道の断水等の周知はどうしているのか。病院や製造業など、急な対応ができないところには、もう少し慎重な対応をお願いしたい。

環境水道部長 早急な修理も必要だが、今後は使用者に対して十分な説明を行いたい。

橘公園参道の照明管理



佐藤 義隆 議員

照明施設、点灯時間は

議員 公園参道に設置されている照明設備の点灯時間が、午後6時から午後8時までとなっている。

公園に隣接する千々石中学校の生徒が部活の練習を終えて帰る時間帯には消灯しているのが現状であり、参道には4カ所しか設置されていない。点灯時間と照明の設置の数および点灯の向きは適正であるのか。

市長 橘公園は橘神社への年末年始の参拝客や桜の花見客など、年間10万人を超える皆様においていただいております。市内有数の観光名所である。

市としては、皆様が安全かつ快適に施設を利用できるように、照明器具の整備を含め、環境を整えていきたいと考えており、利用実態に即した対策を研究していきたい。

建設部長

橘公園の街灯および防犯灯については、鳥居付近の駐車場から千々石中学校校門までの区間に7基の街灯、防犯灯が設置されている。

監理課で設置管理している街灯が4基、それ以外の3基については、教育委員会、市民安全課、地元自治会がそれぞれ1基ずつ管理している。

点灯時間については、社会体育の部活動等において影響がないか関係部局と協議して対応を考えたい。

他の質問

- ・千々石漁港海岸離岸堤の進捗状況
- ・みずほすこやかランドの管理

財政運営および観光資源



大山 真一 議員
(会派：創新・公明)

中期財政計画の内容は

議員 第4期中期財政計画と長期財政見通しはどのようなものか。

市長 主要財源である地方交付税の合併特例措置が一昨年度で終了した。令和元年度から財源不足が発生し基金を取り崩しての財政運営を余儀なくされているが、長期財政見通しでは令和13年度には基金を崩さないで財政運営ができるよう徐々に歳出規模を縮小することとしている。

観光資源活用と保全是

議員 南串山地区の国崎半島公園の活用をどう考えるのか。
観光商工部長 地元自治会



国崎半島海岸

からの要望書採択後、道路整備に代わる桟橋整備の方針を説明し理解をいただいた。現在、桟橋整備についてアクセス道路の代替と観光への活用を目的に来年度の完成を目指して取り組んでいる。また国崎公園キャンプ場の改修も早期完了を目指して取り組んでいる。
議員 ジオサイト活用の観点から国崎半島の自然環境保全についての見解は。
部長 島原半島ジオパーク協議会など関係者と協議し自然環境等の保護も図りながら活用を考えていきたい。

ワクチン接種は町内で



小田 孝明 議員

コロナワクチン接種は近くの医院で受けたい

議員 コロナワクチンはいつから接種開始されたのか。

市長 令和3年4月19日から接種を開始した。ワクチンは国から県、県から市に供給され、1、2回目分6万3180、3回目分3万5790、4回目分1万2780、小児用ワクチン4500回分等の供給を受けており9月末までの接種分は確保している。

議員 私は1・2回目は国見・瑞穂が埋まっており吾妻に予約した。3回目は接種券が届いた日に小浜に予約できなかった。4回目も小浜に3力所空きがあるというので予約した。市民から「娘の仕事を休

ませて、ワクチンを打つてきた。町内なら自分でいける、町内で打つことはできないのか」と話された。

市長 地元の方が身近な医院で接種できるように、予約枠の設定につき南高医師会をお願いする。

みんなの知恵で接種率を上げる体制をつくらう

議員 今後、5回目6回目の接種が予想される。接種率を1%でも上げ、免疫力を高め、事業を休まないでいようにするには経済対策にもなる。ぜひ、他市の例等も研究・検討して、インフルエンザ対策と同じ形の方角で進めてほしい。

健康福祉部長 ワクチン接

種の枠を医師会にお願いしているが、感染状況や接種の状況を見て今後医師会と体制について協議をしたい。

市長 市民が安心して接種できるように接種体制の構築を図りたい。

老人クラブの考え方は

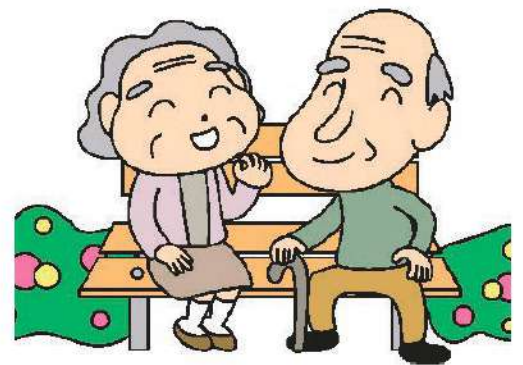


平野 利和 議員
(会派：創新・公明)

議員 高齢者の方々と懇談をする機会があり、「老人クラブの会長がなかなか決まらない。このままだと老人クラブを解散しないといけない」との言葉があり、理由を尋ねると「役所とか老人クラブに提出する書類が多すぎてわからない」との問題を聞いた。それに、会合参加の為に自分の車を運転していくが家族からの反対がある。このような問題を把握しているのか。

健康福祉部長 書類作成のおり「役員のなり手がない。新規の会員の加入がない」などの課題は聞いている。

議員 各町の社会福祉協議会へ支援をお願いしているよ。うだが、もっと細かく支援が出来るように予算を付けて手



を貸して欲しい。このままだと老人クラブそのものが消滅していく気がする。市民に優しい雲仙市であって欲しい。

部長 高齢者が生きがいを持って身近で皆さん仲間同士で過ごすことが一番大切であろうと思う。地域の福祉の推進により助け合いでやっていく。その際に、老人クラブという仲間の集いがあることが重要になってくる。社会福祉協議会といろいろな活動の支援と併せて、新しい活動の場を設けたり、一緒になって会員の増強あるいは、活動の活性化に努めていく。

観光振興策は



矢崎 勝己 議員

議員 昨年被災した雲仙地区の災害復旧・復興の現状と今後の見通しは。

市長 より魅力的な雲仙温泉となるよう創造的な復興を目指しているが、早急な復旧工事完了に向けて鋭意取り組んでいく。今後の雲仙地獄全体のモデルとなるような自然と一体化する線形やデザインの在り方などを検討し、地獄の新たな価値と魅力を創造し、世界から訪れたくなる雲仙地獄を目指し、環境省、県、市、地元が一体となって早期の復興に向け取り組んでいく。

議員 観光施設の案内標識、公衆トイレの増設と維持管理、旧式トイレの改修、冬季にトイレが利用できない問題につ

いてどう考えるのか。

観光商工部長 環境省、長崎県、雲仙観光局、雲仙自然公園財団の4機関との課題共有、意見交換の場を設けた。検討する旨の回答があり対応をお願いした。引き続き協議の場を設け課題等を共有し、適切な管理等について調整を図り、地元の関係団体と連携し、国や県に整備等の要望をしていく。

望洋荘の再編を望む

議員 今後の望洋荘の在り方については結論を急ぐのではなく、多くの市民の声を聞いて、類似施設等も参考に検討すべきと思うが。

観光商工部長 サウンディング型市場調査の意見を参考に、望洋荘の入浴施設としての形態を基本に管理運営の効率化も考慮しながら、課題や検討事項、整備方針について調査、協議している。

議会のうごき

令和4年7月20日（水）

長崎県への施策に関する要望・提案書の提出

令和4年度の長崎県への施策に関する要望・提案として、本市が抱える諸課題11項目について、市議会、市長部局との合同で大石知事および山口県議会副議長に対し要望活動を行いました。

11項目のうち地域の喫緊の課題である「愛野～小浜間の幹線道路整備について」「一般国道251号の整備促進について」「多比良港埋立地の活用および整備等について」の3項目について強く要望し、県知事より回答をいただきました。



令和4年7月21日（木）

千葉県袖ヶ浦市議会「清風会」行政視察受入

千葉県袖ヶ浦市議会の「会派 清風会」8名の皆様が、下記3点の調査目的で行政視察に来庁されました。

【調査事項】・光り輝く雲仙力アップ事業について

・農業次世代人材投資事業について

・乗合送迎サービス「チョイソコらんぜん」について

袖ヶ浦市において、今年度、乗合送迎サービス「チョイソコ」が導入される予定とのことで、活発な意見交換がなされました。

令和4年8月13日（土）

令和3年8月豪雨による犠牲者追悼献花台への献花

令和3年8月豪雨による雲仙小地獄地区の土砂災害から1年を迎えるにあたり、8月12日から15日にかけて、災害発生現場前に献花台が設置されました。

8月13日に献花を実施し、亡くなられた3名の方々に哀悼の意を表するとともに、今後、同じような悲しい出来事が起こらぬよう、防災・減災の取り組みの強化を図り、市民の皆様の安全確保に努めていくことをお誓いいたしました。



令和4年8月17日（水）

長崎県市議会議長会臨時総会

令和4年度長崎県市議会議長会臨時総会が島原市で開催されました。

臨時総会では、今年度で開催された活動報告や九州市議会議長会理事会に提出予定の議案についての協議が行われ、「西九州地域の交通網の整備促進について」と「離島振興について」の2議案が13市議会からの共同提出議案として提出することが決定しました。

議会を傍聴してみませんか？

令和4年第4回雲仙市議会定例会の会期日程（案）は
11月24日（木）～12月20日（火）です

■一般質問 11月28日（月）～12月1日（木）

■議案質疑 12月7日（水）

■委員会

文教厚生常任委員会 12月8日（木）

産業建設常任委員会 12月8日（木）・9日（金）

総務常任委員会 12月9日（金）

※一般質問の日程は、質問者数などにより変わることもあります。
※簡単な手続きで傍聴できますので、議場へ足をお運びください。



編集後記

秋の行楽シーズン、全国旅行支援が始まっておりますし、緊急消費喚起対策の商品券も配布されました。コロナについても水際対策が大幅に緩和されるなど、これまで冷え込んでいた観光地にとっては期待が持てる季節になるのではないのでしょうか。

ウクライナ情勢、円安、物価高騰と家計に影響が出るようなマイナス要素もありますが、いろいろ知恵を絞って乗り切っていきたいですね。

（林田 哲幸）



議会広報編集特別委員会

委員長 前田 哲

副委員長 藤本 淳次郎

委員 平野 利和、上田 篤

林田 哲幸、山本 松一

長崎県市議会議長会議員研修会

令和4年8月18日（木）、島原市の島原復興アリーナで開催され、本市議会から多くの議員が参加しました。

研修会では、自治体議会研究所代表の高沖秀宣氏に、「議会力強化のための議員と議会事務局の役割」と題して講演をしていただきました。

その中で、「執行機関」とされる長に対して、「議事機関」としての議会の実現が、議会機能の維持、議会力の強化となり、二元代表制が機能すると述べられていました。



お知らせ

「議会だより」へのご意見ご感想がありましたら、議会広報編集特別委員会（議会事務局）までお寄せください。



この印刷物は、環境に配慮し再生紙と揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOCベジタブルインキで印刷されています。